

霧島山（硫黄山）における地磁気全磁力変化*

Variation of Geomagnetic Total Intensity at the Kirishima Volcano (Iwo-Yama)

気象庁地震火山部

Seismology and Volcanology Department, JMA

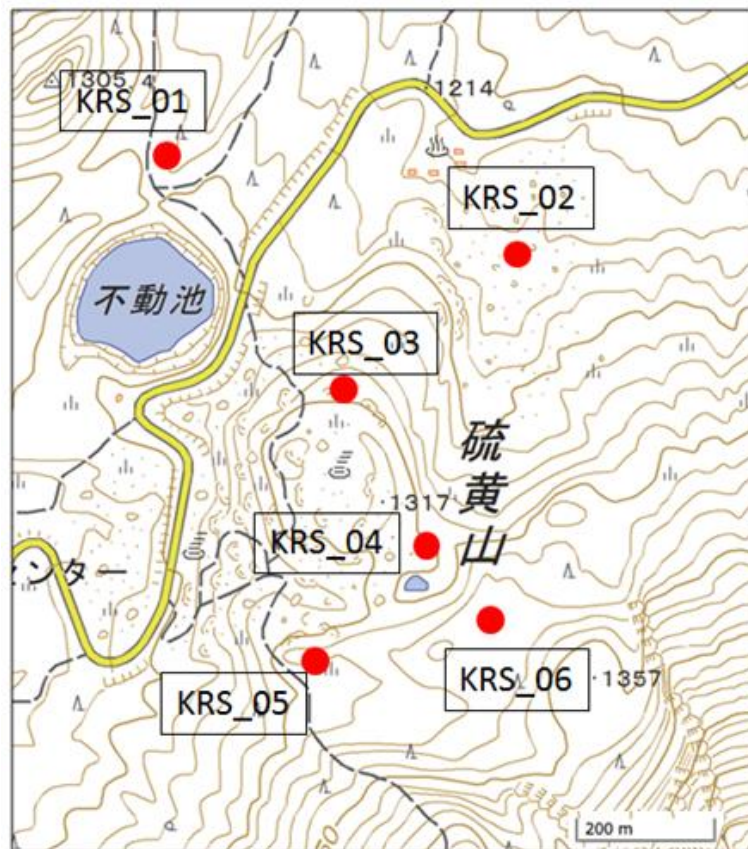
気象庁地磁気観測所

Kakioka Magnetic Observatory, JMA

霧島山（硫黄山）における2017年9月までの地磁気全磁力変化について報告する。

第1図に連続観測点の配置図、第2図に参照点で観測された全磁力値を基準とした全磁力連続観測点の全磁力変化を示す。

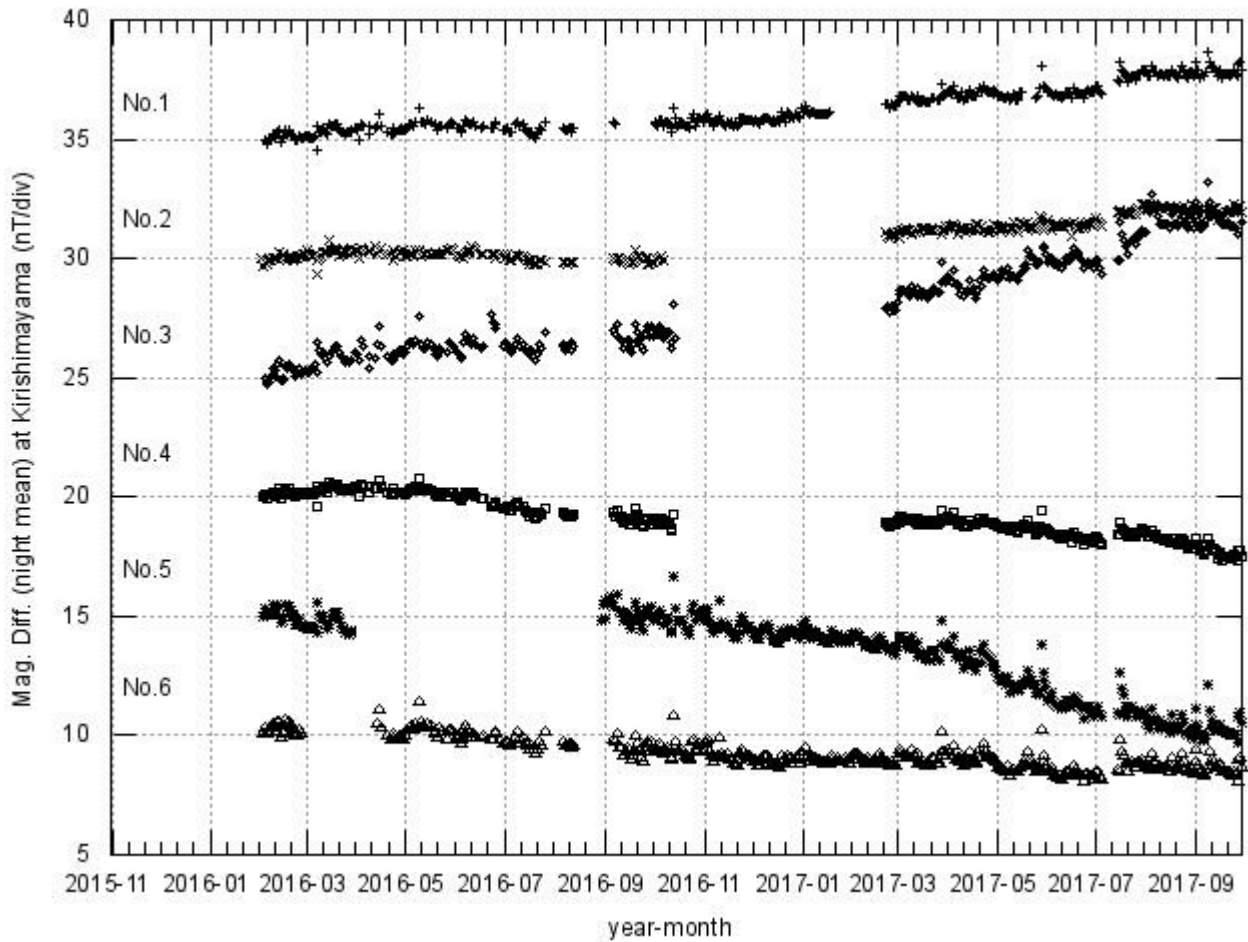
硫黄山山頂部の噴気帯北側の観測点（KRS_03）では全磁力がやや増加し、南側の観測点（KRS_04, KRS_05, KRS_06）では全磁力がやや減少する変化が観測されており、硫黄山では熱消磁が進行しているものと考えられ、その変化傾向は2017年春頃より加速しているように見える。



第1図 全磁力連続観測点（KRS_01～06）の配置図（この地図の作成には国土地理院の電子地図（電子国土Webサービス）を使用した）。

Fig.1 Location map of continuous observation stations for geomagnetic total intensity.

* 2017年12月1日受付



第2図 全磁力連続観測点 KRS_01~06 (図では No. 1~6 と表示) における参照点との全磁力差の夜間平均値 (2016年2月~2017年9月30日)。

Fig.3 Daily mean differences of the night time geomagnetic total intensity between the continuous observation stations KRS_01~06 (denoted as No.1~6) and the reference station from February 2016 to September 30, 2017.